

可児市の小中学校では、未来の笑顔につながる「笑顔の“もと”」を自信をもって語ることができる子どもに育てます。



学 校

スクールカウンセラー（SC）等の専門家の助言・支援

児童生徒・保護者に対して、スクールカウンセラー等の専門家によるカウンセリングを行います。SC、SSWとの連携の強化、的確なアセスメントに基づく見通しの明確化を図ります。

※スクールカウンセラー（SC）とは、心理についての専門性を持ち、学校において、児童生徒が抱える様々な課題について解決のために助言・支援する人

※スクールソーシャルワーカー（SSW）とは、問題を抱えている児童生徒に対して、その児童生徒の環境へ働きかけ、関係機関と連携をとりながら環境改善に取り組む人

学校内の居場所（校内教育支援センター・相談室）の充実

児童生徒が状況に応じて学校生活が送れるように学校内の「居場所」を充実させます。学習や活動のサポートをしたり、生活体験やソーシャルスキルを高める活動を行ったりします。また、可児市教育支援センター（スマイリングルーム）と連携をします。

笑顔の“もと”プログラム

児童生徒が対人スキルを身に付け、良好な人間関係をつくりあげていくことを目的としてトレーニングします。

協働学習を通じた授業づくり

効果的なICTの活用による協働的な学習の充実を通して、「楽しい、分かった」といった自己肯定感を高める授業を教職員と児童生徒でつくりあげていきます。

集団づくり

日々の授業や行事等で、児童生徒を相互につなぎ、一人一人のよさや違いが認め合える場をつくりあげていきます。

WEB QUを用いた児童生徒理解

WEB QUとは、子どもの状態を多角的に知るアンケートです。アンケートの結果から、学校生活の意欲を持てずにいる児童生徒などを把握できます。観察や面接だけでは知り得なかった状態を知り、児童生徒の理解に努めていきます。

演劇的手法を取り入れたワークショップ（アーラとの連携）

演劇やダンスの要素を活用しながら、言葉＋表現で、互いの気持ちを伝え合う活動です。仲間の新たな魅力を発見したり、仲間と一緒に活動することの楽しさを体験したりすることで、認め、認められる関係性を築きます。

児童生徒・保護者との情報共有

担任をはじめ、養護教諭や教育相談担当等の教職員が連携して、児童生徒の様子の変化や情報を整理したり、保護者との懇談を実施したりします。早期に複数メンバーで情報を共有し、検討・分析する会議を実施します。

不登校の兆候を見逃さない「学校」「家庭」との連携

児童生徒が欠席し始めたら・・・

第1段階：家庭と学校が、連絡をとりながら、本人の状況を確認します。

第2段階：家庭と学校が、児童生徒の具体的な状況を把握します。

第3段階：学校は、保護者又は本人と面談をし、今後の対応を確認します。

未来を生きる あなたのために ～多様な学びの場～

自立支援

初期対応

「早期発見」「早期対応」

未然防止

「笑顔の“もと”を育む学校づくり」

家 庭

可児市 教育支援センター

一人一人に応じた多様な学びの場

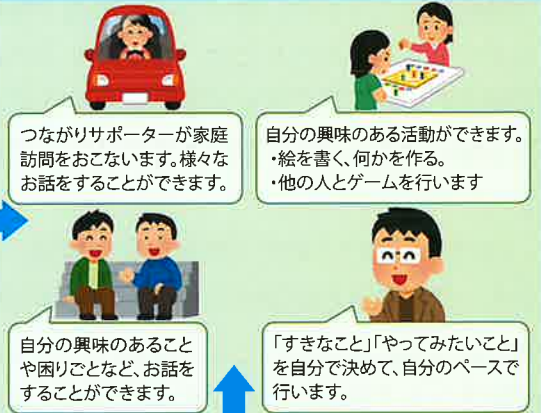
スマイリングルーム（坂戸：可児川苑）

基本的な生活習慣を身に付けることで心を整え、基礎的な学習に取り組みながら、自分を見つめます。水曜日はチャレンジ登校日です。（個に応じ）

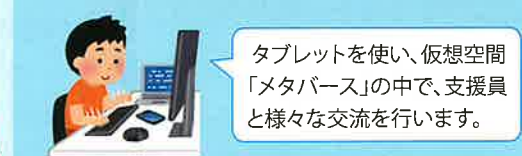


ニコニコルーム（広見：総合会館）

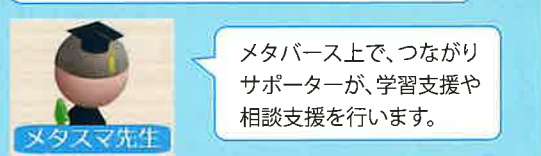
ゆったりとした空間で生活することで、心と体を整え、活動のエネルギーをたくわえます。



メタスマルーム（自宅）



タブレットを使い、仮想空間「メタバース」の中で、支援員と様々な交流を行います。



メタバース上で、つながりサポーターが、学習支援や相談支援を行います。

開設日時 月曜日～金曜日 午前9時～午後2時45分
（都合のよい日、時間帯での利用も可能です。）

教育相談

不登校、いじめ、学校生活や学習、生活習慣、親子関係などに関する相談を受けます。そして、よりよい方向を見つけていきます。

・相談日：月曜日～金曜日 午前9時～午後4時

・方法：電話相談又は、スマイリングルームにて、来所相談することもできます。

☎「心の電話相談」0574-63-2444